



木村鉄直の最近の活動、中国・沖縄の内容をほんの少しですがお伝えします。

2008年10月31日-11月2日 CPC座長  
第10回日本-中国合同皮膚科学術会議  
会場：ハイアットリージェンシー 杭州（中国）

The 10th China-Japan  
Joint Meeting of Dermatology

CPC Session Sunday, Nov. 2, 2008  
10:00-11:40 Reporting Hall  
Chairs: Tetsunori Kimura/Ping Tu

### CPC Cases from Japan

#### Case 1 Polypoid nodule on the upper arm

65-year-old female claimed a nodule on her left upper arm.  
There was no pain or trouble some sensation.



Tetsunori Kimura,  
Sapporo Institute for Dermatopathology, Sapporo, Japan

#### Case 2 Subcutaneous nodule on the leg

57-year old female presented with subcutaneous well-circumscribed  
nodule on her outside of the left leg.  
The first pathological diagnosis was missed.



Tetsunori Kimura,  
Sapporo Institute for Dermatopathology, Sapporo, Japan



中国側はPing Tu先生が、日本側は木村がCPCの座長を務めました。

←ポスター（奥）と、  
バーチャルスライド  
（手前のモニター）



今回は症例検討にバーチャルスライドを利用しました。

#### 学会前

CPCで検討する症例のバーチャルスライドを事前に参加者向けにWEB上で公開

#### 学会開催期間中

会場に抄録を掲載したポスターとバーチャルスライドを見るためのパソコンを会場に設置

CPCポスターの前にて。←



木村 鉄直

今までは会場に顕微鏡と病理標本を設置して参加者は交替で閲覧していましたが、バーチャルスライドを使うことで顕微鏡の設置は必要なくなり、複数人で同時に症例を検討することができるようになりました。

「バーチャルスライド」については、当研究所ホームページをご参照ください。↓

<http://www.sapporo-dermpath.com/NDPContract/NDPContract.html>

2008年10月16日 講演

沖縄皮膚科勉強会「毛包の正常組織を理解すると毛包腫瘍の病理診断は簡単になる!？」

会場：ホテルロイヤルオリオン（沖縄県那覇市）主催：沖縄県皮膚科勉強会、ヤンセンファーマ

### 講演タイトル一覧

1. 毛包の組織構造
2. 毛包嚢腫Follicular cyst
3. 毛包腫瘍の分類  
Classification of Follicular Proliferations
4. 腫瘍の命名法
5. Basal cell carcinoma  
基底細胞癌

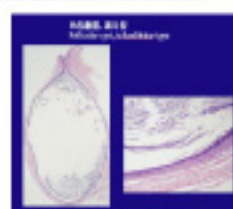
上記内容で講演しました。



毛包嚢腫Follicular cyst  
小凹型  
毛包嚢腫(凹型)



毛包嚢腫、深凹型  
Follicular cyst, infundibular type  
凹型  
Abscess  
Follicular cyst  
Epithelial type

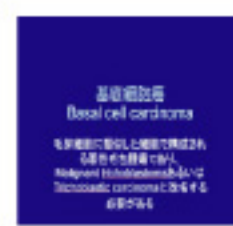


基底細胞癌  
Basal cell carcinoma



腫瘍の命名法

毛包嚢腫(凹型)研究  
本村健史

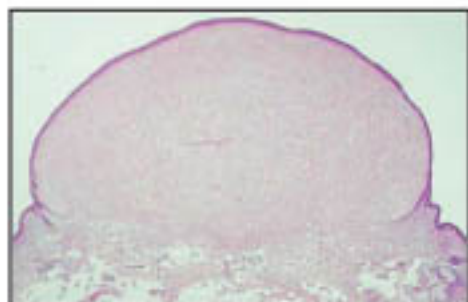


基底細胞癌  
Basal cell carcinoma

毛包嚢腫に類似した腫瘍で誤診され、基底細胞癌と診断された  
Atypical Folliculocystoma-like  
Trichostatic carcinomaに偽る基底細胞癌

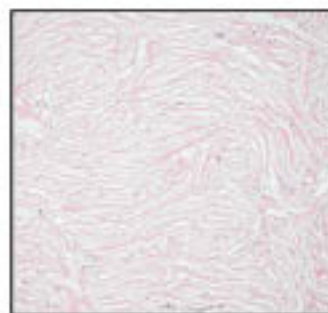
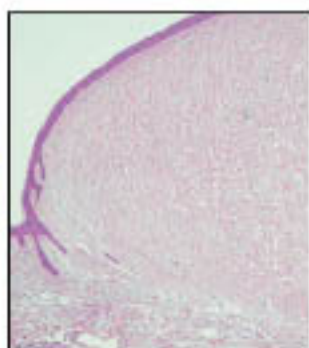
## 今月の症例

80才、男性 生検部位：左前腕のしこり  
臨床診断：疣贅  
病理組織診断：Sclerotic fibroma



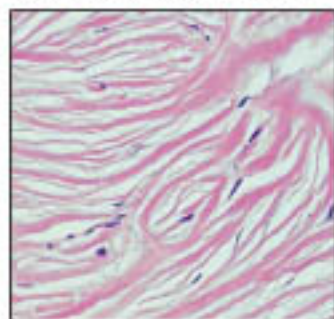
半円状に隆起する丘疹がある。  
真皮には好酸性に赤く染色される  
膠原線維が増生している。

増生した膠原線維を  
延長した付属器上皮が  
一部包圍している。



ヒアリン化した膠原線維は  
同心円状あるいは互いに  
平行に走行している。  
膠原線維間には空隙がある。

膠原線維と紡錘形の核を  
持つ線維芽細胞がある。



## 学術業績・学会発表・最近の活動

- 2008年10月31日～11月2日 CPC座長  
第10回日本～中国合同皮膚科学術会議  
会場：ハイアットリージェンシー 杭州（中国）
- 2008年11月23日～11月24日 セミナー  
第1回 皮膚病理講座 診断編「皮膚病理診断への第一歩」  
会場：慶應大学医学部 東校舎講堂

## 今後の活動

- 2008年12月20日 講演  
藤田保健衛生大学 第13回皮膚科セミナー  
ビギナーコース 炎症性皮膚疾患の病理診断  
「絵あわせ診断」と「パターン分類とアルゴリズム分析診断」  
アドバンスコース 炎症性皮膚疾患の病理診断  
「パターン分類とアルゴリズム分析診断」演習  
会場：藤田保健衛生大学病院 講義室

## What's new 研究所

10月末、川崎裕史先生の  
送別会をうなぎのなが木で  
行いました。



川崎先生は7月から10月まで  
週3回研修されました。



←木村先生からの  
贈ることば。  
お元気で～

10月末、木村先生の誕生  
パーティーを開きました。



木村先生のために沢山のサプ  
ライズをみんなで用意しました。



これが・・・  
こうなる



プレゼントは椅子と、  
真っ赤なクッション、そして  
真っ赤なバラの花束です。↓



↑全員で  
記念撮影。

先生も嬉し  
そうでした

## 札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: http://www.sapporo-dermpath.com 編集担当：和田ひろみ